

4月28日

### 数々のきっかけくれた弟子屈に感謝 スコロパデンコさんが町に絵画寄贈

作品を手にするスコロパデンコさん(左)と徳永町長(右)



4月28日、ウクライナ出身の芸術家ゾヤ・スコロパデンコさんが来町し、本町出身でウクライナ人の父を持つ第48代横綱・大鵬を題材とした作品7点を町に寄贈しました。

スコロパデンコさんは昨年5月から11月にかけて、大鵬相撲記念館で展覧会「大鵬の生涯」を開催、今回寄贈された絵画はその展示品の一部。「東京やパリでも作品展を開催する予定で、相撲の精神が伝わるような展示をしたい。」とスコロパデンコさんは話していました。

寄贈された作品は5月から同記念館で展示されています。

4月28日

### 歌で詐欺への注意呼びかけ 川湯保育園で特殊詐欺被害防止イベント

「特殊詐欺被害防止ソング」の弾き語り



弟子屈警察署(齋藤淳一署長)が4月28日、川湯保育園(小林史和園長)で特殊詐欺被害防止イベントを実施しました。

会場には同園児や地域住民、防犯協会員などが参加。同署の算宏敏警部補による特殊詐欺への注意喚起や、園児らが作った防犯こいのぼりのお披露目、川湯駐在所の木下真一巡査部長によるオリジナル曲「特殊詐欺被害防止ソング」の弾き語りが行われました。木下巡査部長は「騙されてからじゃ遅いから今ここで伝えておくよ」と、メロディーに乗せて注意を呼びかけました。

5月12日

### 公共交通体系の維持・推進を目指し 町地域公共交通活性化協議会を開催

徳永会長による冒頭挨拶



町地域公共交通活性化協議会(徳永哲雄会長)は令和8年度第1回目となる会議を5月12日、町役場で開催しました。町や道の関係者、バスやタクシーの事業者など委員15人が出席した今回の会議では、昨年度の収支決算報告などが行われたほか、今年度の事業計画案として「弟子屈えこバスポート事業」や「町交通空白解消乗合ハイヤー事業」などが承認されました。

北見工業大学教授の高橋清副会長は「しっかりデータを取り、町の公共交通の方針を決めていくことが重要。」と話しました。

5月17日

### 町の歴史を刻んだ名木巡り「春の名木ツアー」を開催

解説を聞きながらカッラを観察



町の名木を巡る「令和8年度春の名木ツアー」が5月17日、町と根釧西部森林管理署(藤本達之署長)主催で開催されました。本ツアーは、地域の象徴として親しまれている木を長く後世に伝える取り組みとして、春と秋の年2回実施しています。

今回は関係者を含め13人が参加。バスで屈斜路方面へ向かい、厳しい開拓時代と風雪を耐え抜いた「No.9ポプラ」と「No.10カッタ」を見学したほか、和琴半島を散策し春の動植物の観察を楽しみました。

5月12日

### 「自分の命を守る行動」を学ぶ 避難訓練および地震・津波防災講話を実施

津波の仕組みを学ぶ児童たち



5月12日、和琴小学校(工藤博之校長)で避難訓練および地震・津波防災講話が行われ、児童14人が参加しました。地震発生を想定した避難訓練を実施後、釧路地方気象台から派遣された4人の講師から、過去の災害事例や避難時の注意点などについて教わりました。また、液状化現象実験装置や津波実験装置を使い、地震や津波の仕組みを実際に目で見て学びました。

児童たちは、いつ起こるか予測できない災害に対し、日頃から備えることの大切さを認識し、防災への理解が深まった1日となりました。

5月15日

### 利用者や職員に癒しをお届け 老人ホームにドライフラワーを寄贈

アレンジメントによる癒し



国際ロータリークラブ第2500地区第8分區、弟子屈ロータリークラブが5月15日、養護老人ホーム倭和園(丹羽好文園長)とJ.A.北海道厚生連特別養護老人ホーム摩周(高石和恵施設長)に、キリンを模したドライフラワーアレンジメントを寄贈しました。

同団体は、奉仕の理念を奨励し育むことを目的に、日々さまざまな活動を行っています。施設を訪れた弟子屈ロータリークラブの木暮敏男会長と渡邊明子社会奉仕委員長は「ぜひ皆さんでキリンをかわいがっていただければ。」と話しました。

4月19日・5月11日

### 目撃が増える季節を迎え 児童や地域住民を対象にヒグマ教室を開催

遭難時の対処法を学ぶ児童たち(川湯小学校)



弟子屈警察署(齋藤淳一署長)主催のヒグマ教室が、4月19日に川湯小学校(山館孝志校長)で、5月11日に弟子屈小学校(佐藤義行校長)で行われました。

野生動物教育研究室WELの自然ガイド橋田真澄さんが講師を務め、ヒグマの生態や、ヒグマに遭遇した際の対処法などを紹介しました。橋田さんは「クマが暮らせる森を大切に。人もクマも安全に暮らせる北海道をめざそう。」と、命への思いやりについても参加者に説きました。

このページは皆さんからの情報で作られています。どのような情報でもすぐにかけつけます。お気軽にご連絡ください。

482-2913 (課直通)

4月22日

### 交通ルールを守ろう 弟子屈小学校で交通安全教室を開催

内輪差による巻き込み事故実験



弟子屈小学校(佐藤義行校長)が4月22日、弟子屈警察署(齋藤淳一署長)指導のもと交通安全教室を同校舎前で開催しました。

児童が交通安全を意識しながら行動しようとする力を養うことを目的に開かれた今回の教室は、全校児童を対象に実施されました。自転車の決まりに関する講話からはじまり、トラックとダミー人形を使用した衝突実験が行われ、児童たちは事故の危険性をしっかりと学び、交通安全に対する理解を深めました。

4月19日

### これからもずっと楽しく！ 「美留和サロン」活動10周年

豪華景品が当たる宝引き



2か月に一度、美留和地区に住む町民が集まり、多様な催しを行う多世代交流の会「美留和サロン」(同実行委員会主催)が4月19日、美留和会館で開催されました。

活動10年の節目を迎えた今回のサロンには18人が参加。ラジオ体操でしっかり準備運動をしてから、得点を競い合うゲーム大会や、さまざまな景品が当たる宝引きを楽しみました。

身体を動かした後は、ちらし寿司やケーキなどの華やかなランチに舌鼓を打ち、皆さんで10周年をお祝いしました。

4月24日

### 思いやりと助け合いの輪を広げる 町自治会連合会が定期総会を開催

野田口会長による挨拶



町自治会連合会(野田口昌明会長)の令和8年度定期総会が4月24日、町公民館で開催されました。

同連合会は、自治会相互の連携を密にし、共通の問題解決を図ることを目的に、環境衛生・美化活動、安心・安全活動の推進などに取り組んでいます。

総会では、令和7年度の事業・収支決算報告や、8年度の事業計画案・収支予算案の承認を行いました。また、出席者全員で町民憲章を唱和し、明るく住みよい郷土づくりへの思いを強めました。

4月24日

### 目指すは交通死亡事故ゼロ 町交通安全運動推進協議会定期総会を開催

定期総会の様子



町交通安全運動推進協議会(徳永哲雄会長)の令和8年度定期総会が4月24日、町公民館で開催されました。

総会では、令和7年度の収支決算報告や、8年度の事業計画案・収支予算案の承認などが行われました。今年度は「ストップ・ザ・交通事故〜めざせ安全で安心な弟子屈町〜」をスローガンに掲げ、交通事故防止のための活動に取り組みます。

徳永会長は「地元の人や観光客など、皆で事故に気を付けていきたい。」と話していました。